選挙制度の比較

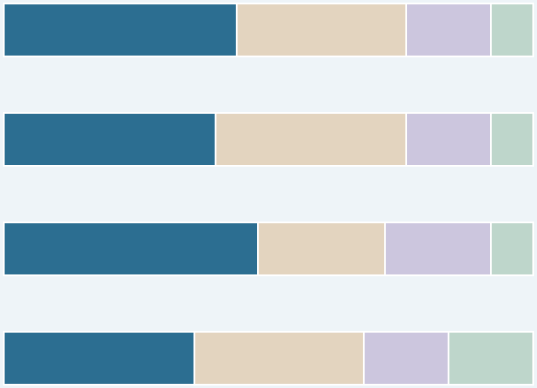
同じ得票でも、小選挙区制と比例代表制では議席の配分が変わる（架空の例）

4つの党の得票（合計10,000票）

A党	B党	C党	D党
4,200票（42%）	3,100票（31%）	1,700票（17%）	1,000票（10%）

小選挙区制（4つの区・各1人当選）

各区の得票の内訳（濃い色が当選した候補者の票）



議席 A A A A　A党4・B党0・C党0・D党0

薄い色の票は当選に結びつかない（死票）

この例の死票：5,800票（全体の58%）

比例代表制（定数4・ドント式）

得票を1、2、3…で割り、商の大きい順に議席を配る

	A党	B党	C党	D党
÷1	4,200 ①	3,100 ②	1,700 ④	1,000
÷2	2,100 ③	1,550	850	500
÷3	1,400	1,033	567	333

議席 A A B C　A党2・B党1・C党1・D党0

得票の割合に近い議席になりやすい

商は小数点以下を四捨五入して表示

架空の政党・得票で、実際の選挙結果ではない。衆議院は両方を組み合わせた小選挙区比例代表並立制。